

振動、揺れ、振れに強い!

アクリル100%の高分子ベースコート

“EJベースコート”

EJ-Basecoat



【はじめに】

イフスジェイ・ベースコート（以下、EJBC という）は、アクリル100%のポリマーベースコートで、コンクリート、石材、EIFS の下塗り用、また EPS ボード、石膏ボード、軽量コンクリートボードなどの接着剤としても使用でき、撥水性、耐久性、柔軟性に優れており、特に振動、揺れ、振れに強い下地材です。

【下地材・接着剤として使用できる表面材質】

粗骨材・細砂コンクリート	石材	レンガ
スタッコ	石膏ボード	EPS ボード
軽量コンクリートボード	その他外壁用ボード	

【物 性】

1) 重量 : 25 kg / 缶

【性 能】

抗張力	3.4 mPa
弾力性	9.0 mPa
接着力	1.0 mPa
圧縮強度	39.3 mPa

【特 長】

- 接着力
EJBCは、アクリルとポリマーの結合により接着面を均一に繋ぎとめるので、むらのない優れた接着力を維持します。
- 弾力性
EJBCの優れた弾力性能により、振動、揺れ、振れによるひび割れ、亀裂、剥離がありません。
- 撥水性
EJBCは、アクリル100%のポリマーとポルトランドセメントを混合して使用しますが、アクリル系ポリマーがポルトランドセメント全体を包み込み繋ぎとめるので、表面全体が優れた撥水性を発揮します。
- 耐久性、耐老化性
EJBCは、アクリル系ポリマーがポルトランドセメント全体を包み込み繋ぎとめるので、酸化抵抗性が強く耐久性、耐老化性に優れています。
- 塗り厚が薄くて良い
EJBCは、優れた接着性、弾力性、耐久性により、1～2mm塗るだけで効果を発揮します。

【施工案内】

◆ 下地処理

- ① 清潔で乾燥しており、十分硬化（養生）していること
- ② ゴミ、硬化剤、剥離材がついていないこと
- ③ 劣化、水垢、またはその他の異物が付着していないこと
- ④ 下地上の旧塗膜は、全て完全に除去すること

◆ 使用道具・機器

- ① EIFS 専用のステンレスコテを使用します。（ウィンドロック社の製品を推薦します）
- ② EPS ボードを接着させる場合のコテは、帯状に塗れる専用のコテを使用します。

◆ 塗布面積

- ① コンクリート、石材、レンガ ： 約 18 m²/ 缶

◆ 施工方法

- ① 容器内の EJBC を別の清潔な同じ容器に半分入れ、各容器にポルトランドセメントを袋の 3 分の 1 ずつ入れ、満遍なく混ぜます。完全に混ざったら 5 分間寝かせ、粘土を安定させます。その後再度混ぜ合わせ、好みの粘度になるように水を加えます。塗布中も時々かき混ぜて下さい。

- ② 下地用として使用する場合は、通常のコテ塗りのようにすれば良いですが、なるべく薄く延ばすように塗り、塗り厚を1～2mmになるようにして下さい。
- ③ EPS ボードを接着させるために使用する場合は、EPS ボードの上に専用の接着コテを使用して帯状に塗ります。
- ④ 複雑な形状の下地材として塗る場合は、ゴム手袋などでなでるように塗ると良いでしょう。
- ⑤ 細部などは、ブラシを使用すると良いでしょう。

◆ 注意点

- ① EJBC とポルトランドセメントを混合し、好みの粘土にするために水を加える場合、各容器に2.8ℓ以上入れないで下さい。 また、ポルトランドセメントも各容器に15kg以上入れないで下さい。
- ② EJBC は、0℃で凍結し使用できなくなるので、温度に注意してください。
- ③ 気温が4℃未満の場合は、塗布しないで下さい。
- ④ EJBC を塗布後、24時間は雨、露、また凍結などの天候から保護して下さい。
- ⑤ 混合後の塗布作業可能時間は、約2時間です。
- ⑥ 塗材が目や肌に付着しないようにして下さい。 もし、付着した場合は、素早く大量の水で洗い流して下さい。
- ⑦ 工具に塗材が付着した場合は、乾燥する前にふき取り洗い流して下さい。

【保管・配送】

- 保管温度は、4℃以上38℃未満にし、できれば一定温度で保管して下さい。
- 配送する場合、0℃にならないように保護して下さい。

以上、EJBCの製品案内です。

お問い合わせ、ご質問は、イフスジャパン、製品管理部までお気軽にご連絡下さい。

EIFS JAPAN 株式会社 製品管理部 www.eifsjapan.com Tel : (0537)23-3992 Fax : (0537)23-3993 e-mail : info@eifsjapan.com
--